

Reader's VIEW

2017 Vol.1 特集「次期学習指導要領を読み解く」へのご意見

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

*『VIEW21』教育委員会版のバックナンバーは「ベネッセ教育総合研究所」ウェブサイト (<http://berd.benesse.jp/>) でご覧いただけます。

◎学習指導要領の改訂は、教育委員会や各学校にとって喫緊の課題であり、それを理解する上で特集の7つのキーワード解説はとても分かりやすいものでした。本地域は学校組織が非常に小さいので、カリキュラム・マネジメントとコミュニティ・スクール導入の必要性を感じています。その方向性の正しいことが確認できました。(秋田県)

◎特集の7つのキーワードのうち、特に「社会に開かれた教育課程」の理念がよく理解できました。その実施にあたっては、地域の人的・物的資源の活用や、放課後・土曜日等を使う社会教育との連携が大切です。学校教育を学内で閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させることが必要ですね。今の本校の取り組みの延長線上にあると安心しました。(大阪府)

◎特集事例の茨城県つくば市「つくばスタイル科」は、小・中9年間を通じた教科ごとの指導が、系統的でよく練られていました。言語力・協働力のスキル育成も効果的に見えます。まさに、今回の学習指導要領改訂の重点が押さえられているようでした。(神奈川県)

◎特集のキーワード「小学校英語の教科化」については、学校現場では授業時数の捻出が課題です。いろいろな方策が考えられますが、子どもの英語に対する学習意欲を失わせないように留意することが大切で、そのためにも教員の授業力向上が重要です。本市も、連携する中学校の英語科教員との交流や相互授業参観等を実施して、自信を持って授業を行えるようにしていきます。(東京都)

◎「小学校英語の教科化」に際しては、特集の東京都武蔵村山市立雷塚小学校の事例だけでなく、どの小学校にも戸惑いがあると思います。そして、この事例のポイントは「英語活動支援員」の存在です。今後は、こうした支援員の普及が重要になるのではないのでしょうか。(滋賀県)

◎連載「学力向上へのステップ」の岡山県備前市では、産学官の3者の協力関係で成果を上げている点が素晴らしいと思いました。教育委員会だけの事業では、教員にさらなる多忙化を強いるかもしれませんが、企業や大学から協力を得られれば、大きな力になると納得しました。(宮城県)

◎連載の岡山県備前市の取り組みでは、ICT活用によって学びの質が向上しており、大変うらやましく思いました。本地域では、活用以前に地域全体のネットワーク環境の構築が急務という状況です。さらに、それらを活用してどのような授業を想定するか、教育委員会と学校現場の教員の双方がイメージを持つことが大切と考えます。本記事は両者を刺激する内容で、参考になりました。(沖縄県)

◎連載「アクティブ・ラーニング実践講座」の埼玉県戸田市立戸田第二小学校の事例は、タブレット端末が全員分あるからこそできる取り組みかもしれません。その中で、学級経営の重要性への意識が目を引きました。健全な意見交換に向けて、互いを信頼、尊重できる学習基盤や、顔を向き合わせてコミュニケーションする場面設定の重要性など、示唆に富むものだったと思います。(北海道)

◎連載の埼玉県戸田市立戸田第二小学校の事例は、授業づくりの工夫が、とても分かりやすかったです。ICT機器には予算が関係するので、そのまま本地域で実現することはできませんが、「コーディネート発問」を始めとした発問の工夫は、日々の授業改善をメインとした校内研修で十分取り組みます。今後の参考にしていきます。(北海道)

◎巻末記事「私の仕事 私の願い」にあった英語学習で、「小学校での外国語活動で高まった意欲を、中学校が引き継いで体系的な指導で学力として高め、高校に渡す」という中学校の役割について、まさにその通りだと感じました。本市でもこの考え方を生かしていきたいと思います。(茨城県)

編集後記

特集では、研究指定校を中心に、小学校英語の先行事例を取材してきました。今回の取材では、どの学校でも先生方が同じことを話されていたのがとても印象的でした。例えば、「授業づくりは必然性が大切」「英語力よりも英語を一生懸命話そうとする姿勢が大切」「児童のことをよく知っている担任の先生こそ英語の授業をすべき」などは、どの先生も声をそろえて力説されていました。英語力に自信のない先生方にもぜひ、これらの意見を参考にして、臆せず取り組んでいただければと思います。(岡本)

VIEW21 教育委員会版 2017 Vol.2 2017年8月15日発行/通巻第10号

発行人 山崎昌樹
 編集人 春名啓紀
 発行所 (株)ベネッセコーポレーション
 ベネッセ教育総合研究所
 印刷製本 凸版印刷(株)
 編集協力 (有)ベンダコ
 執筆協力 二宮良太
 撮影協力 荒川潤、谷口哲、松原誠、
 ヤマガチイキ

◎お問い合わせ先
 フリーダイヤル 0120-350455
 〒700-8686
 岡山市北区南方3-7-17